



「左京区まちづくり運営方針」

「左京区まちづくり運営方針」は、この左京のまちで、区民や左京に関わるすべての人々と一緒にまちづくりを進めていくために、どのようなまちにしていきたいか、そのためにどのようなことをしていくのかを示すものです。

目指す姿（計画期間：令和8年度～令和12年度）

「左京に暮らし、働き、学び、関わるすべての人々」が、左京の自然や文化の中で、自分らしく過ごし、誰かとつながりたいとき、つながりが必要などときには、見つけることができるまち。また、人を助ける側だった人が、ときには助けられる側にもなる、そんな「お互いさま」の心があるまち。

皆様と共有したい思い



「地域の防災訓練」

「お互いさま」の心がある、人の温もりに満ちたまちにしていくため、以下の3つの思いを大切にしましょう。

- ・近所の方とあいさつを交わすなど、地域でのつながりを大切にする。
- ・住んでいる・関わっている地域への愛着と誇りを持つ。
- ・国籍や文化が異なるなど、多様な背景や立場をお互いに理解する。

まちづくりの方向性

目指す姿の実現に向け、左京区役所が多様な人や活動をつなぐ「結節点」となり、このまちに関わる人々が思いを共有し、一緒にまちづくりに取り組んでいけるようサポートします。



「つながりの場」

柱1 地域に根差した多様なつながりを育む

自治会などの地縁団体、ボランティア団体などの志縁団体や事業者、留学生をはじめとする外国籍市民など多様な方々と共に、子どもから高齢者まで、人と人、人と活動がつながり、互いに支え合う関係を育んでいきます。また、区民の困りごとを部署の垣根を越えて区役所全体で共有し、きめ細かな対応を行っていきます。



「鞍馬の火祭」

柱2 左京の個性をいかす

豊かな歴史と多彩な文化を有し、大学が多く、文化施設が集積するなど個性のある左京。地域の個性をいかしたまちづくりを進めるとともに、まちに息づく多彩な「学藝（がくげい）」-先人たちが育んできた知識、芸術、技術、地域独自の文化-を再発見し、学び合う場を共に創り出していきます。



「鴨川デルタ」

柱3 自然と共生する

左京の暮らしや食文化をかたちづけてきた豊かな自然の恵みに感謝し、親しむ機会をつくっていきます。一方で、災害の多い地域であり、行政等による「公助」がすぐに届かない場面でも、地域の「つながり」から生まれる「共助」と「自助」の力を育み、支えていきます。



「北山友禅菊」

柱4 北部山間地域のまちづくりを進める

北部山間地域は、区民共通の資産である豊かな自然や伝統文化を有する一方、過疎化が進展しています。都市部と山間地域のつながりと交流を育むとともに、地域の方々と手を携え、元気に暮らし続けられるまちづくりを進めます。

令和8年度 主な取組

（1）共創を核とするまちづくり推進事業 柱1 柱2

区内で取り組まれる、まちの魅力向上や地域課題の解決に向けた、自主的なまちづくり活動への補助を行います。また、地域の多様なネットワークを広げるための取組を進め、「共に創る」まちづくりを後押しします。

（2）左京区民ふれあい事業 柱1

左京への愛着を育み、地域の方々の交流を深めるため、各種団体等との協働により、左京区民ふれあいまつり等を開催します。ふれあいまつりでは「子ども」をテーマとし、子ども目線・保護者目線・地域目線で、子どもが安心して過ごせる愛着を持てる地域について考え、地域交流・多世代交流を進めます。

（3）災害に強い左京区づくり事業 柱1 柱3

地域の特性に応じた「地区防災計画」づくりを支援します。また、安心安全な避難所運営ができるよう、自主防災会への備蓄品購入支援を継続するとともに、避難所ごとの「運営マニュアル」の更新を支援します。

（4）区制100周年[※]を見据えた地域の魅力創造発信事業 柱1 柱2 柱4

北部山間地域から都市部に広がる地域の文化や自然、独自の取組など、左京の持つ様々な魅力を発掘し、広く発信していきます。また、地域で継承されてきた「学藝」の価値や、それを支える人々の思いを再認識し、区民が地域の文化に関心と誇りを深める事業や、区外の多くの方々にも、左京の豊かな魅力を深く知っていただくための事業を展開します。（※令和11年度）

詳しくはこちら

